

一般廃棄物処理場への 日曜日受入を3月5日・19日に実施

一般廃棄物処理場への自己搬入は、月曜日から金曜日の13時から16時までと第1日曜日に受入をしていますが、臨時に、3月19日の日曜日に受入することとしました（受入時間は、9時から11時）。この機会をぜひ、ご利用ください。



家庭内に処分せずにある
多量ごみは近接する現施設の利用を。



町の一般廃棄物（家庭・事業系ごみ）は、4月から帯広市の「くりりんセンター」へ搬入することになるため、町内統太にある一般廃棄物処理場は3月31日から天災などによる一般廃棄物以外は受入れしません。引越などで一時的に多量なごみが排出された場合や収集日以外の収集は行いませんので、4月以降は一時多量排出ごみや収集日以外にごみを

処分したい場合は、くりりんセンターへ自己搬入するか、一般廃棄物収集運搬業者に収集運搬料金とくりりんセンターのごみ処理手数料（10kgごとに160円）を払って処理を依頼するかのどちらかになります。

この臨時受入は、家庭内に処分せずにある多量ごみの処分をしていただくために実施しますので、ぜひ、ご利用ください。現施設への直接搬入の場合は「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の分別は必要ありませんが、テレビなどの家電4品目や産業廃棄物などは搬入できませんので、ご注意ください。
※くりりんセンターの受入は、月曜日から土曜日の9時から17時までとなっています。

事業系ごみの収集

商店、官公庁、工場などの事業系一般廃棄物の収集運搬処理は、「浦幌町事業系ごみ収集・運搬・処理に関する希望事業者団体準備委員会」において、株式会社サクシンが選定され収集運搬処理を行うことになりました。

同社では4月からの実施に向け準備を行っておりますが、まだ収集運搬の契約手続きをされていない事業者の方は、早急に手続きを済ませてください。

■連絡先 (株)サクシン
(TEL 576 - 3821)

家庭系指定ごみ袋など取扱店（4月以降）

桑原新聞店（本町）
東栄堂（本町）
フタバ薬局（本町）
中山共栄販売店（桜町）
うらぼろ調剤薬局（幸町）
フクハラ浦幌店（幸町）
セブンイレブン浦幌寿町店（寿町）
山本金物店（寿町）
松井商会（住吉町）
高橋ストアー（宝町）
セイコーマートたむら浦幌（光南）
北栄ストアー（北栄）
カネマンきたむら（貴老路）
丸二浅野商店（吉野）
出口護商店（十勝太）
バラエティなばた（厚内）
山本商店（厚内）

※4月以降、役場・上浦幌支所では、一般の町民の方への販売はしません。上記取扱店で購入ください。

II B型 救急自動車の修理

昨年の12月町議会定例会で事故報告したII B型救急自動車の修理について報告します。積載品および車両の破損状況について、釧路トヨタ自動車株式会社西帯広支店において、詳細の見分を行なってきました。

その結果、積載品については未だ調査中ですが、車体全体のフレーム調整および板金塗装並びに騒音防止材加工、室内の内張り修理に、概算で210万円を要する結果となりました。

費用は、自動車損害賠償責任保険が適用され、積載品を含み、保険の範囲内で修理可能の見込となっています。修理には、約3か月間を要することから、II B型救急自動車の運用再開は4月以降となる状況です。

留真温泉水飲用効果 共同研究の結果

留真温泉水飲用効果共同研究の結果について報告します。

1月浦幌町議会臨時会

URAHORO TOWN COUNCIL

救急自動車の修理など3件を

行政報告



露天風呂に設置されている留真温泉浴用水の取水場。

帯広畜産大学と共同研究していましたが、昨年10月末より実験を開始し、糖尿病を発生するように遺伝子を操作したマウス5匹ずつを普通の水道水と留真温泉水を飲ませるグループに分けて5週間飼育し、1週間毎に血糖値を測定したところ、2週間目では、水道水を飲んだマウスの血糖値は、実験開始時に比べ1.0倍当り238 mg上昇したのに対し、温泉水では、1.0倍当り92 mgしか上昇せず、上昇率が約6割抑制されました。

また、糖尿病の症状が進行した4週間目では、ともに1.0倍当り530 mg、両者に差はでませんでした。

この結果、「留真温泉水は、人の初期の糖尿病については、血糖値上昇抑制に効果が予想される」ことが認められたところです。

なお、マウス実験において、摂餌量、飲水量および体重において水道水群と留真温泉水群の間で有意な差が認められなかったことは、留真温泉水が生体および嗜好性に悪い影響を及ぼす可能性が乏しいことを示唆していることもわかりました。この結果を踏まえ、今月中に職員によるプロジェクト会議を設置し、留真温泉の将来的な再開発計画について検討をしていきたいと考えています。

中学生の交通事故の、 その後の対応

昨年の10月町議会臨時会で行政報告した中学生の交通事故の、その後の対応について報告します。

事故発生後、学校およびPTAでは、今回の事故が農繁期の輸送繁忙期の下校時に起きたことを重く受け止め、浦幌町および本別町に事業所をもつ運送業者など14社に安全運行の励行を依頼するなど、再発防止に取り組んできました。

また、町でも、上浦幌中学校生徒に自転車用夜光反射材、全小中学校生にキーホルダー型夜光反射材を配布するとともに、スクールバス停留所位置の変更、運行時間の是正などの措置をとりました。

教育委員会といたしまして、今後、こうした事故が二度と起こらぬよう、学校生活全般にわたって、細心の注意を払ってまいります。